

# 川崎重工グループのCSR

川崎重工グループのグループミッションは「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する“Global Kawasaki”」。従業員一人ひとりがそれぞれの持ち場で、日々業務活動の中で実践しています。これに「企業の社会的責任」という側面からより広い意識と行動目標を加え、さらに高いレベルでグループミッションを実現していくことを目指しています。

## 川崎重工グループのCSR活動のフロー

我々に対する「社会の期待」をさまざまな方法で収集・集約し、ここから当社グループの「CSR課題項目」を抽出、5つのテーマ(①事業による価値創造 ②マネジメントの誠実さ ③働き続けたい職場づくり ④環境への取り組み ⑤社会貢献)に分類しました。

項目ごとにそれぞれの担当部門が現状を自己評価し、「足りないところは補い、強みはより向上させる」ことを目標としてア

クションプランを策定、このPDCAサイクルを回しています。

2011年度は、当社グループまたは重工業業界に特有に求められる姿をより具体的に追求するために、ステークホルダーとの対話の機会を設ける予定です。我々が今以上に「社会の期待」に応えられるよう、ステークホルダーの生の声をCSR活動の中に組み込んでいきます。



## 川崎重工グループの ミッションステートメント



### CSRの5つのテーマ

- ① 総合技術力で未来をひらく価値を創り出します 事業
- ② 社会の信頼に応えるため、いつも誠実に行動します マネジメント
- ③ ずっと働きたい職場をみんなで作ります 従業員
- ④ 「地球が微笑むものづくり」を追い求めます 環境
- ⑤ 社会と未来につながる貢献の輪を広げます 社会貢献

より高いレベルでの  
グループミッションの  
実現

### グループ経営原則

1. 高度な総合技術力に基づく、高機能・高品質で安全な製品・サービスの提供を使命とし、社会と顧客から信頼される。
2. 事業展開のすべての局面において企業の社会的責任を認識し、地球・社会・地域・人々と共生する。
3. 誠実・活力・高度な組織力と労使の相互信頼を企業文化とし、グローバルに“人材”を育成・活用する。
4. “選択と集中”、“質量量従”、“リスクマネジメント”を指針とし、収益力と企業価値の持続的向上を図る。

### グループ行動指針

1. 長期的・多面的・グローバルな視点に立って思考し、行動する。
2. 革新を旨とし、高い目標を持って困難な課題に挑戦する。
3. 夢と情熱を持ち、目標の実現に向け、最善を尽くす。
4. 高い倫理観と優れた人格を持ち、社会と人々から信頼される企業人となる。
5. 自己練磨を怠らず、自ら考え行動する「自主独立のプロフェッショナル」となる。
6. 誇りと喜びを共有する、「チーム・カワサキ」の良きメンバーとなる。

## CSR活動組織

### ■ 全社CSR委員会

委員長:社長 委員:取締役、カンパニープレジデント、本社部門長、および常勤監査役  
「全社CSR委員会規則」に従い運営されています。事務局はCSR推進本部です。CSRの大方針、重要事項を審議・決定するための組織です。



### ■ 本社CSR企画ワーキンググループ

全社CSR委員会の諮問機能的な組織です。CSR関係の情報を収集し、当社ではどう取り組むべきかを議論し、全社CSR委員会に提言します。

メンバー->>経営企画部、広報部、財務部、調達本部、人事本部、総務部、営業推進本部、技術開発本部、地球環境部、CSR部

### ■ カンパニーCSR委員会

委員長:各カンパニープレジデント

「事業部門CSR委員会規程」に従い運営されています。事務局はカンパニーの企画管理部門です。全社CSR委員会で決定された大方針のもと、各カンパニーの具体的施策を決定し、その実施状況を確認します。全社CSR委員会の個別指示事項の実行組織でもあります。

### ■ カンパニーCSR連絡会議

各カンパニーのCSR担当部門(CSR委員会の事務局部門)の情報連絡会です。

### ■ 本社CSR委員会

委員長:本社管理部門担当役員(現在は高尾常務取締役)  
カンパニーCSR委員会の本社管理部門版です。事務局はCSR部です。

### ■ その他全社横断組織・委員会

- 地球環境会議 ●人財育成委員会 ●リスク管理委員会
- 輸出関連法規遵守審査委員会 ●危機管理対策機構